

第6期第6回横浜市子ども・子育て会議（総会） 会議録

日 時	令和6年9月10日（火）午後7時00分から午後8時33分まで
開催場所	横浜市庁舎18階みなと4・5会議室（ハイブリッド開催）
出席者	大日向雅美委員長、明石要一副委員長、池田浩久委員、石井章仁委員、上岡朋子委員、金 明希委員、倉根美帆委員、柴田康光委員、清水純也委員、田中 健委員、萩原建次郎委員、辺見伸一委員、堀 聡子委員、松井陽子委員、三浦尚美委員、水谷隆史委員、八木澤恵奈委員
欠席者	青山鉄兵委員、大庭良治委員、津富 宏委員
開催形態	公開（傍聴者0人）
議 題	<p>1 各部会からの報告</p> <p>2 審議事項</p> <p>（1）第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について（令和5年度分）</p> <p>（2）こども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン（第3期横浜市子ども・子育て支援事業計画）の素案（案）について</p> <p>3 報告事項</p> <p>（1）その他</p>
決定事項等	<p>1 各部会からの報告</p> <p>各部会から資料に基づき報告</p> <p>2 審議事項</p> <p>（1）第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について（令和5年度分）</p> <p>事務局から資料に基づき報告</p> <p>○大日向委員長 それでは、本件につきましては案をご承認いただいたということによろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なし ）</p> <p>（2）こども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン（第3期横浜市子ども・子育て支援事業計画）の素案（案）について</p> <p>事務局から資料に基づき報告</p> <p>○大日向委員長 ただいまご説明いただいたものは、次期計画素案の全体の方向性をご確認いただくというものだと思いますが、先ほどご報告いただきました部会の様々なご指摘も盛り込んでいただいているかとは思いますが、ご感想でも結構です。大変質、量ともに大部な資料でなかなか難しいかもしれませんが、ご感想でも結構ですが、いかがでしょうか。</p> <p>先ほど伺っておりましたこどものウェルビーイングというところは、全てという言葉を入れてほしいという堀部会長からのご指摘もきちんと入っていたかと思ひますし、様々なこどもの声を取り入れるとか、あるいはひとり親家庭の方のご苦労にどのように応えていくとか、また、障害のあるお子さん、ご家庭への配慮ということも部会それぞれのご意見をいただいて、反映していただいているかと思ひます。その上で、何か皆様からご質問、ご感想がありましたら頂戴できればと思ひます。もう少し時間を取りますので、二、三日前に届いているかと思ひますが、なかなかお目通しいただくのが大変な資料かと思ひます。特に先ほどご報告いただいた部会長の皆様の感想やご意見なども頂戴できればありがたいと思ひます。</p>

○三浦委員 本当に細かいところまでおまとめいただき、この資料をおつくりいただくことがどんなに大変だったかと思います。本当にありがとうございます。

と言いながら、とても細かいところで恐縮なのですが、71ページの基本施策4、学齢期から青少年までのこども・若者の育成施策の推進の、「いわゆる「小1の壁」の打破」というものがあるのですが、今、朝の小学生の居場所の事業をモデルケースでやっていらっしゃると思うんですけども、それがたまたま私の青葉区で実施されています。青葉区のみしが丘という場所で実施されているんですが、朝の居場所という意味で、その場所選定がよかったのかなというのをその地区担当と話しています。かなり特殊な場所ではあるんですね。住んでいる人たちの層というか。なので、このモデルケースをやるに当たっても、もうちょっと場所の性質とかも見極めてやっていただければ、今、あまりモデルケースとして使われていないんじゃないかという話もありまして、ちょっとそのあたりをご検討いただければありがたいと思っています。すみません。本当に細かいことで申し訳ありません。よろしく願いいたします。

○事務局 今、三浦委員からありましたが、今回、みしが丘小学校とみしが丘東小学校で朝の居場所づくりのモデル事業をやらせていただいております。こちらにつきましては、子育てしやすいまちというところで、ほかにもいろんな事業、いろんな施策を進めて面的に対応するという中で、みしが丘小学校とみしが丘東小学校を選ばせていただきました。

今回、7月から始めたということで、委員おっしゃるとおり、ちょっと実績があまり伸びていないというところはございます。一つの要因として、小学校の朝の居場所ということで、小学生の親御さんにつきましては4月に合わせて生活を変えていく中で、今回7月からやる形になってしまったので実績が伸びなかったというところはあります。また来年度以降、どうなるのか見ていきたいと思います。あと、今後いろんなエリアも含めて実施する中で、市内いろんな場所でやる中で、最終的にこの事業がどういったものなのかというのは判断していきたいと思っております。

○三浦委員 みしが丘地区がそういう地区であるからこそ選定されたということは承知していますが、やはり少しこの事業に関しては、その地域ではなく、もっとほかの地域でも様子を見ていただきたいなと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

○上岡委員 すごく詳しい資料をおつくりいただき、ありがとうございました。同じく、これをつくるのはとても大変だったろうなと思って、局の皆様には感謝しかありません。私のほうからは、意見と質問を併せて二、三お伝えしたいと思います。

まず1つ目ですが、基本施策3で保育所、幼稚園等の施策が全体的にまとめられています。まだ保育所に入園できないというところは区によっては発生していて、そのために新たな保育園などがまだつくられている状況にあると思います。その一方で、ここ一、二年の間で近隣の幼稚園が、今年閉園になるとか来年に閉園になるという面もかなり聞いております。そうしたミスマッチというのがありますし、本来有効に活用すべき幼稚園というリソースをうまく活用できていないというところもあるかと思えます。ですので、現在の素案でどうこうというわけではないですが、幼稚園というリソースをもう少し活用できないかということは、こども園への切替えをされているところも多々あるとは思いますが、何か別の方法として使えないかということも少し考えてみて良いのではないかなと思いました。

もう一つが、基本施策2になるのかどうかというところですが、不登校のこどもたちが増えている中で、その子たちが昼間いられるような場所がなかなか地域の中にはないのが現状かなと思います。不登校の問題というものがどこで話されるべきものなのかが局的に曖昧になってしまう

のかもしませんが、このこども青少年局で話すのか、あるいは教育委員会のほうの問題になってしまうのか。そこのところが本当は両方一緒になって話をすべきなんじゃないかなと思います。不登校という文字自体は、この施策のどこかに書かれているのは見つけれなかったのですが、ただ、現状増えているので大きな問題だとも思うので、そこをご検討いただけたらと思いました。

もう一つが、今の不登校の話とも近い問題かと思いますが、公園もやはり局が違うので入れられないということで、子育て部会のほうでも話題に上がっていったかなとは思いますが、そうした横断的にどうしてもなってしまう。けれど、こどもにとって、とても大事な居場所がなくなっている。公園のほうも、もし可能であれば、施策に反映されるといいのかなと思いました。よろしくお願ひします。

○事務局 幼稚園の関係につきましてご意見、ご質問いただきましてありがとうございます。

幼稚園につきましても、私ども、非常に大切な資源と考えてございますので、やはり幼稚園をしっかりと活用させていただきながら、引き続き待機児童については対策をとっていきたくと考えてございます。特に、1・2歳児の保育ニーズにつきましては、まだ引き続き伸びていくという部分がございますので、幼稚園のほうでの2歳児受入れ推進事業とか、あるいは3歳以降につきましても預かり保育事業といったものを幼稚園協会の皆様とも連携しながら推進していきたいと考えてございます。

○事務局 不登校のこどもに対する地域の居場所等に関する取組と、あと公園の関係についてお答えさせていただきます。

今回、この計画はこども計画にも位置づけるということで、庁内では教育委員会とも検討を重ねてこの計画をまとめております。今、お手元に計画の素案の冊子がございますらぜひお開きいただければと思いますが、基本施策6の困難を抱えやすいこども・若者への支援策の充実がございます。そちらの120ページにお進みいただきますと、不登校の児童生徒への支援について、教育委員会事務局の取組と市長部局である我々の取組を2つ記載しています。「不登校児童生徒支援事業」を教育委員会として、学校内で取り組むもの等もございますが、下の「不登校のこども等困難を抱えやすいこどもの居場所づくり」というものを第3期計画から新たに入れております。

地域の主体的な取組が増えてきているという先ほどの委員のご指摘もあったかと思ひます。そういうところへの支援ですとか既存施設の活用など、不登校のこども等、困難を抱えやすいこどもの多様な居場所づくりを進めていくということで、実はまだ具体的な中身等をしっかり書き込めてはございませんが、教育部局と市長部局、我々のほうでしっかり連携しながら、子ども・子育て支援事業計画の中でもこの取組を進めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご意見をいただければと思ひております。

続けて、公園のまちづくりというところで、こちら第3期でこども計画として位置づけていくことを踏まえて新たに位置づけております。99ページをご覧くださいませでしょうか。こちらは基本施策4の中で「安全・安心な公園づくり」というものを入れさせていただきました。地域の憩いの場であり、こどもたちの遊び場でもある身近な公園等を市民が安全で安心して快適に利用できるよう区局一体となって新設や再整備、施設改良、維持管理等を進めていくということで、所管でいくとみどり環境局が中心にはなりますが、この第3期計画を策定していくに当たって、様々な部会でやはり公園の存在、こどもの居場所になっているというご意見をたくさんいただきましたので、こういった形で位置づけさせていただくことができました。委員の皆様のご意見を踏まえて対応した部分になります。計画推進の中でもしっかり進めてまいりたいと思ひます。

○石井委員 部会のときにもちょっと申し上げた案件で、一言だけですが、0歳の出生の推計数値が、この資料9-1別紙1の74ページを見ていただくと分かりますが、令和7年から令和11年まで実は微増してくるという推計には一応なっているんですが、実際に令和6年の元推計を見るとマイナス2万ぐらゐの違ひがあつて、かつ、この近年の減り方を見てみるとかなり減っています。

ということは、一応国の進める推計の方法どおりにやっていると、実は横浜だけではないですが、他の自治体などを見てみると、微妙に上向くということがどうもあるようだというのは複数のこういう計画策定のところで見受けられます。ある自治体は、5年に遡って平均値を出すという方法では難しいと判断して、つまり令和2年がちょっと数が増えている傾向があるので、そこを除いた形の推計の仕方にチャレンジしている自治体を私は2つぐらい知っています。

それをやったときにどうなるかという、さっき他の委員からあつたように保育の需要、ニーズが、ニーズ調査で出ているものを加味しなければいけないので一概には言えませんが、保育・教育部会側の立場から言うと、もしかしたら保育園を増やさなきゃいけないとか、保育需要を満たさなきゃいけないみたいな文脈になるものがあつて、一方、子育て部会とか子育て支援の施策から見るとゆとりがあるような、何かそういう配置になるんじゃないかなというのは少し感じます。

ここで多分重要になってくるのが、実際に令和7年、令和8年のところでどうなっていくのかというのがかなり重要なところになるのかなと思うので、もし令和6年のようなマイナス2000人ぐらゐの誤差が出てきたときに、やはりその中間見直しというものが鍵になるのかなと思います。それは近未来の話にはなりますが、特に保育・教育部会の整備みたいなのところがかなり入ってくるので、そこをちょっと注視していただけたらいいかなと。2年半とかというところではなくて、単年度ごとに注視していただけるとありがたいかなと思います。

○事務局 部会でもご指摘いただいた部分になります。資料の74ページで推計児童数をお示ししております。ここの部分に関するご指摘でした。ここに書かせていただいておりますが、「量の見込み」の算出に用いる推計児童数、令和2年度の国勢調査結果を基に本市が令和5年度に算出した横浜市将来人口推計を使っております。

実はこれが令和5年度に算出したということですが、先ほど一度申し上げましたように、実際には市全域ではなくて年齢ごと、かつ18区ある区ごとでこの人数を出しますが、それが出されたのが令和6年4月になっております。つい最近出されたばかりのものということでございまして、今回の私どもの「量の見込み」と「確保方策」を考えていくに当たっては、本市全体で出された推計児童数と整合性を図るということで、この数字を使わせていただいております。

ただ、部会の場合でも、それがもうこの半年の状況を見てもやはり実態とずれてきているところもあるというご指摘があり、実際の数字もそうなっておりますので、私どもとしては、「量の見込み」と「確保方策」としては一旦このような形でしておりますが、毎年度最新のデータ等を把握しながら計画の推進、「確保方策」等の場面で反映をしてみたいと思っております。ご指摘ありがとうございます。引き続き検討してまいります。

○大日向委員長 部会でも既にご議論いただき、一応ご承認いただいているということは先ほどのご報告でもいただいたところでございますが、なお、今後の推移を注視するというところで、重要ということで繰り返しご指摘いただいたことと思います。

部会では大変丁寧にご議論いただいたことを的確に反映いただき、そして、皆様共通に思っているんじゃないかなと思います。本当にすばらしい資料を作成いただきました。そのご苦勞に感謝申し上げます。ありがとうございます。

なお、パブリックコメントも今後なさるといってございまして、この計画原案の策定にいずれなされるパブリックコメントも生かしていただきながら、本日皆様にご了解いただきましたのは地域計画素案の全体の方向性でございます。この方向性につきまして、いま一度確認させていただきますが、事務局案をご承認いただいたということによろしいでしょうか。

(異議なし)

3 報告事項

(1) その他

事務局から資料10～資料14について報告

○大日向委員長 冒頭に局長からのお話もございましたが、現委員の皆様の任期は今年秋の10月末で満了することに伴いまして、本日が委員改選前の最終の会議となります。この間、委員の皆様には、横浜市のごども・子育て施策の推進に当たりまして大変ご尽力いただきましたことに厚く御礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

閉会

資料	資料1	第6期横浜市子ども・子育て会議 委員名簿・部会名簿
	資料2	第6期横浜市子ども・子育て会議 事務局名簿
	資料3	横浜市子ども・子育て会議条例、横浜市子ども・子育て会議運営要綱
	資料4	部会報告 子育て部会
	資料5	部会報告 保育・教育部会
	資料6	部会報告 放課後部会
	資料7	部会報告 青少年部会
	資料8	第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について (令和5年度分)
	資料9-1	こども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン（第3期横浜市子ども・子育て支援事業計画）素案について
	資料9-2	こども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン（第3期横浜市子ども・子育て支援事業計画）素案（案）
	資料10	放課後キッズクラブ・放課後児童クラブで夏休みの昼食提供が始まります 【記者発表】
	資料11	「小1の壁」打破に取り組みます！小学生の朝の居場所づくりモデル事業を開始します【記者発表】
	資料12	横浜市子育て応援アプリ パマトコ WEB版を7月1日にリリースします！ 【記者発表】
	資料13	横浜市独自の出産費用助成金
	資料14	横浜市妊婦健康診査費用助成金
特記事項	なし	